

志貴野中学校区小中一貫教育の目標

豊かな人間性と自立した人格をもち未来を切り拓く子供の育成
～小・中連携と学校・家庭・地域との協働を通して～

能町小学校 学校教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる子供の育成

よく考える子

やさしい子

健康な子

今年度の重点目標
気づき、考え、表現する子供の育成
目標達成のためのアクションプラン

進んで学び、伝え合う子

- 問題意識(課題意識)をもって学習している。(80%以上)
- 相手の意識して聞いたり、話したりしている。(80%以上)

おたがいを大切に、助け合う子

- 互いのよさや努力を認め合い、励まし合っている。(85%以上)
- 場に応じた挨拶をしている。(85%以上)

健康・安全を考え、行動する子

- 進んで運動に取り組んでいる。(85%以上)
- 健康・安全に気を付けて生活している。(90%以上)

学校経営の方針

児童が生き生きと活動し、明日も来ることが楽しみな学校

- 日々の活動を通し、自他をかけがえのない存在として大切にすることを育てる。
- 互いのよさや努力を認め合い、励まし合う場を設け、自己肯定感を高める。
- 夢や目標をもつ場を大切に、進んで挑戦し努力しようとする意欲を高める。
- 挨拶、やさしい言葉遣い、助け合い等、温かな交流を学校全体に広げ、安心し、信頼し合える人間関係を育む。

学び合う楽しさを味わう授業づくり

- 児童の問題意識を高め、協働的な学びを工夫することで、他と関わりながら主体的に学び、学んだことを生かそうとする力を養う。
- 「課題・見通し・成果」を明確にし、「分かった」「できた」が実感できる授業づくりを通して学ぶ楽しさや達成感が味わえるようにする。
- 必要感のある話合いや関わり場の場を設け、互いのよさを認め合いながら、考えを深められるようにする。
- 言語活動の充実、ICT活用を図り、表現力を育成する。

健康・安全への意識向上

- 心身の健康について学ぶ機会を充実し、体力づくりへの意欲向上や、家庭・地域と連携した生活習慣の改善を図る。
- 日頃の安全指導を重視し、危険を予測・判断して安全に行動する力を養う。
- 学級や学校、社会におけるきまりやマナーについて考える場を大切に、互いに安心し気持ちよく生活しようとする態度を養う。

保護者や地域の信頼に応える学校づくり

- 志貴野中学校区の小・中学校や、校区の幼稚園・保育園、地域の人材や諸団体との連携を生かし、教育活動の充実及び児童の健全育成を図る。
- 学校経営方針や活動状況等を発信し、開かれた学校づくりを目指す。
- SDGs教育を推進し、社会参画の意識を養う。

教職員のチーム力向上

- 同じ目標に向かって支え合い、学び合い、高め合う教師集団を目指す。
- 報告・連絡・相談体制を確立し、一人で抱えこまずに、チームとして課題への迅速な対応を行う。

校内研修

集団活動を通して、主体的・対話的に探究し、よりよい生活や人間関係を築こうとする子供の育成

生活上の問題から課題を見だし、解決していくための教師の支援や授業構想の工夫

互いの考えを理解し、よりよい合意形成や意思決定を図る話合い活動の支援

令和のとやま型教育の推進

生徒指導

教師と児童の信頼関係を基盤にした学級学年経営に努める。

互いのよさや違いを認め合い、助け合う児童相互の好ましい人間関係の形成を育む。

学校と家庭、地域社会との情報共有に努め、連携して、安全指導・健全育成の充実を図る。

小・中学校9年間を通して目指す姿

- 「自他を理解し、見通しをもって粘り強く課題に取り組み、心身共に健康に過ごす子供」
- 感謝と思いやりの心をもって、よりよく関わり、互いに高め合おうとする態度を育てる。
- 夢の実現に向けて、見通しをもって試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組む力を育てる。
- 自分の心と体の成長を見つめ、健全で健康な生活を送ろうとする態度を育てる。
- SDGsの考え方を理解し、積極的に参加できる態度を育てる。